

アーレントと エムケ、 共生の作法^{さくほう}

矢野久美子

フェリス女学院大学教授
(ドイツ政治文化論・思想史)

ハンナ・アーレントは、複数の人々が共に生きるための〈あいだ〉の空間とそこに生じるパワーの意味を語りました。本報告では、彼女に影響を受けつつ独自の営みを続けるカロリン・エムケのテキストを参照しつつ、ジェンダーと共生について考えます。

2021 2.10 WED

14:00 - 16:00 オンライン開催 (Zoom利用)

本テーマに関心のある研究者・大学院生等を10名まで募集します (本事業は少人数での開催となります。人数に達し次第締め切らせていただきます。)

申込方法 : 女性学研究センター WEB サイト、または右記の QR コード
からお申込みください。

参加費 : 無料

申込締切 : 2月6日 (土) 17時まで

お問合せ先: 女性学研究センター <http://www.human.osakafu-u.ac.jp/w-center/>

Zoom のミーティング・アドレス、ID、パスコードを2月8日 (月) にお知らせいたします。
この日にメールが届かない場合、2月9日 (火) 16時までに wscopu@gmail.com にご連絡
ください。

